



二所一関



十一月場所結果

二月場所新番付

| 序口 | 序二段 | | | | | 三段目 | | | | | 幕下 | | | | | 十両 | | 幕内 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|
| 東14 | 西74 | 西32 | 西12 | 西10 | 西79 | 東75 | 東67 | 東57 | 東48 | 東37 | 東60 | 西55 | 西23 | 東20 | 西6 | 東9 | 東5 | 東14 |
| 総勢山 | 尼王 | 林龍 | 足立 | 藤宗 | 谷口 | 佐藤 | 阿龍 | 林虎 | 麒麟龍 | 西田 | 和氣の里 | 龍王 | 花房 | 宮城 | 嘉陽 | 高橋 | 大の里 | 友風 |
| 全休 | 全休 | 3・4 | 1・6 | 2・5 | 1・6 | 3・4 | 5・2 | 5・2 | 4・3 | 6・1 | 3・4 | 全休 | 3・4 | 4・3 | 6・1 | 8・7 | 12・3 | 7・8 |

| 前相撲 | 序口 | 序二段 | | | | | 三段目 | | | | | 幕下 | | | | | 十両 | | 幕内 | | | |
|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|-----|------|----|-----|-----|------|-----|----|
| | | 西13 | 西57 | 東55 | 西42 | 東27 | 東6 | 西36 | 西35 | 東31 | 東27 | 西13 | 東52 | 西29 | 東17 | 西1 | 西6 | 西15 | 東15 | | | |
| 加藤 | 澁谷 | 総勢山 | 尼王 | 林龍 | 足立 | 藤宗 | 谷口 | 佐藤 | 阿龍 | 龍王 | 麒麟龍 | 麟虎 | 林虎改め | 和氣の里 | 西田 | 花房改め | 宮城 | 嘉陽 | 白熊 | 高橋改め | 大の里 | 友風 |

大の里 2 場所連続の 12 勝、新入幕へ

十両 2 場所目の大の里、先場所に引き続き 12 勝を挙げた。新年初場所の新入幕は確定的である。しかし、千秋楽は優勝決定戦になりながらも惜しくも敗れ、こちらも 2 場所続けて優勝を逃す形になった。もう一步まで迫りながら、なかなか優勝できないシーンは師匠とダブらせて見るファンも多いであろう。その人間味も師匠と同じく、ファンが急増している要因かも知れない。持ち前の圧力を活かした相撲で、幕内最高優勝を掴んでもらいたい。



一月場所から 2 人の新弟子が入門

- ・澁谷 一興 (しぶや いっきょう)
茨城県牛久市出身。18 歳。常総学院高校卒。186 cm 115 kg
- ・加藤 天意 (かとう てんい)
秋田県大仙市出身。18 歳。仙北西高校卒。182 cm 117 kg
どちらも志願した高卒力士です。応援よろしくお願ひいたします。

3 名の力士が改名。新年から心機一転!

- ・高橋改め 白熊 優太 (しろくま ゆうた)
関取昇進後も本名のままだった高橋がついに改名。二所ノ関親方が初めて高橋を見た時から、「大きくて筋肉隆々。肌が白くて白熊のようだ」と言ったことが思い出される。昭和の名大関・北天佑にも姿取り口が似ており、北天佑のニックネームは「北海の白熊」だったことにも由来。また、優しい笑顔で老若男女、子供達からも人気が高く、みんなに覚えてもらえて好かれるように、という想いもある。高橋本人からの強い希望で新年からの改名となった。
- ・花房改め 花の海 松右衛門 (はなのうみ まつえもん)
本名が「花房海」。この三文字は二所ノ関親方が特に好きな漢字。両親に付けていただいた名前を大事に活かそうということで四股名が決まった。海を四股名の下半分にしたのは、広く大きな海が土台部分を支えて、安定するという想いからである。
- ・林虎改め 麟虎 寛一 (りんこ ひろかず)
読み方は一緒に「りん」の文字だけ改名。本名から取って林という字だったが、二所ノ関伝統の「麒麟」を意味する麟という字に改名。中学を卒業し、ここまでは順調に番付を上げてきた。しかし来年には 18 歳。高校生だと 3 年生の最終学年である。この一年、どこまで駆け上がるか、勝負の年になるとして改名に至った。



嘉陽が 6 勝で勝負をかける。西田も 6 勝で新幕下へ昇進

嘉陽が九月場所に続いて 6 勝の大勝ち。一月は幕下最上位まで番付をあげ、待ったなしの状況である。初日には幕内優勝経験があり、関脇から陥落してきた若隆景の復帰戦で注目を集めた中、鋭い押し相撲で完勝。前に出る圧力に磨きがかかっていることを証明した。三段目では西田が初日から 6 連勝。最後の優勝決定戦こそ敗れたが、初の幕下昇進を決めた。体は大きいものの、まだ 19 歳。あどけなさの残る叩き上げ力士だが期待は大きい。一気に駆け上がる気概で一月も挑む。



二所ノ関親方の総評コーナー!

十一月場所もそここの成績で終わりました。まず大の里が新入幕を決めました。立ち合いについて徹底的に作り直し、少し成果が出たかなと思います。しかし幕内はもっともっと厳しいので、横綱大関を目指すためには稽古を積まなければなりません。友風も 4 年半振りの幕内の土俵を務めてくれました。結果は最後で負け越しになりましたが、ケガなく皆勤できた事は今後に繋がります。高橋も新十両から連続勝ち越しで大したもの。しかし素質から考えれば物足りない。もっと稽古をして、相撲の取り方を工夫できるようになれば幕内も近い。幕下以下では嘉陽が良い内容でした。地力が確実に付いています。番付運もあり十両昇進とはなりませんでしたが、遅かれ早かれ決めてくれます。西田の 6 連勝も立派でした。最後の相撲が勿体無いですね。これからもどんどん攻める相撲を取れば幕下でも勝てるでしょう。2023 年、全体的に見ても良い一年だったと思います。これも全ては普段から応援して下さる皆様のお陰と感謝申し上げます。まだまだこの成績に満足せずに、精進あるのみです。2024 年もよろしくお願ひいたします。

中村親方の注目力士コーナー!

2024 年初場所の注目力士は新幕下に昇進した西田です。九州場所では自身初の初日から 6 連勝。優勝をかけた 1 番では惜しくも敗れましたが、大きな体を活かして前に出る相撲で勝つ相撲が多くみられました。幕下に昇進しても西田の持ち味である前に出る攻めの相撲を取りますので応援よろしくお願ひします。

隔月で二所ノ関部屋の最新情報をお知らせしています